

YMCA健康福祉専門学校

健康福祉ニュース

ハイライト:

- 実習が始まりました
- 介護福祉科特集
- まだまにあう！体験入学

AO入試と学力

近年、入学試験を成績などの数値判定よりも、入学希望者の「志望動機」や「学習意欲」を含めた「総合的判断」を重視する「AO入試」を実施する学校が急増しているのをご存じですか？これまでの学力試験によるものから学業成績や年齢に関わらず幅広く集めようという意図から、高等学校長などの推薦を求めない学校も多く、出願できる学力基準に関しても撤廃したり、参考程度にとどめる学校も多々あるようです。ただし、自己紹介文や小論文、課外活動の実績を示す資料(ボランティア実績やスポーツ成績や表彰の証明など)、証明書などの提出物は多く、面接も志望動機や将来の希望などの一般的な質問に答えるだけでなく、自分の能力と学習意欲をしっかりと面接官に伝えることが大切になっています。



AO入試とは、入学希望者が「学校が求める学生像(アドミッションポリシー)」に適合し、しっかりと「志望動機」と「学習意欲」を持っているかを判定する入学試験ということになります。すなわち、「入学試験の成績や調査書評定値がすべてではない」ということになりませんが、その学生自身の考える力、問題解決能力、企画創造力などを総合的に判定した「人物評価」が合否の基準になるわけですから、今までを「どう生きてきたか」が問われることにもなりますね。

話は少しそれますが、私は「自分の属するグループや人のために進んでよく働く学生の多くは、社会へ出てからも充実した生活を送っているのではないか」と思っています。こういう学生は、いつも自分を越えた広い立場から物事を考えることができ、主体的、そして積極的に学生生活を送っているように感じています。このことと勉強ができるかどうかの相関関係はないかも知れませんが、彼らには「生きる力」があると思います。

最近よく「学生の学力低下」という言葉を耳にしますが、この「学力」とは、いったい何でしょう。知識量ですか。それとも物事の本質を見抜く思考力ですか。人生を生きる力ですか。みなさんはどう思いますか？

先日の本校入学試験で「自分は頭が悪いので…」と言う受験生がいました。しかし、その学生との面接でその学生に「家族への配慮や尊敬心があること」、「誠実で責任感の強いこと」、「友人との関わりを大切に、そこから多くを学ぶ姿勢があること」を感じました。さらに「将来は地域の子どもたちを支えることができる保育士になりたい」という明確な目標を持っていました。体験入学を通して「YMCA専門学校の大切にしていること」をしっかりと受け止めてくれていました。入学したらYMCA海外支援プログラムである「ボランティア タイ」にぜひ参加したいとも話してくれました。

AO入試とは本来「本当の自分の学力を見てほしい」という学生の期待に応えるためにも、しっかりと判定しなければなりません。その学校の持つ「アドミッションポリシー」に共感している学生との面接にも十分な時間が必要で、より深い相互理解が入学前に必要なのです。入学後に進路変更をしなければならない学生達が多いと聞きます。入学後の将来の自分の姿や今までのそしてこれからの生き方について本音で語り合う場面がAO入試に求められているのではないのでしょうか。

YMCA健康福祉専門学校
校長 小林 一郎





ファシリテーターの山村さんからエイズメモリアルキルトの話もうかがいました

エイズボランティア養成講座

1月23日(火)のホームルームの時間に、1年生を対象に、かながわレドリボンブラザ主催のエイズボランティア養成講座を行いました。今回は横浜エイズ勉強会の方にご協力いただき「H.I.Voice ACT」の朗読会を行いました。この朗読会はH.I.Vに関わる人が発行する月刊情報誌「H.I.Voice」を朗読することでHIVについて理解を深め、共感の輪を広げることを目的に行われました。静かなBGMの流れの中、6名の学生が朗読してくれました。HIV感染者や感染者の家族や友人の詩にはいろいろなメッセージがこめられています。手紙のように「誰か」に向け

て書くのではなく、自分の想いを吐き出しているようで、どれもとても心に響きました。「朗読」と聞くと、特別な技術がいるようにも感じますが、実際に朗読してくれた6人の学生は声に出して読むことで、そこにある思いを共感して自分の心と身体に取り入れることができました。朗読を聴いてくれたたくさんの学生達も、これから自分にできる何かを探していくきっかけになってほしいと思います。



来月は
デンマーク研修報告を
お届けします

後期試験終了！実習がはじまりました

2月に入り、後期試験が終了するとYMCA健康福祉専門学校のほとんどの学生達は現場実習が始まります。健康福祉科1年生は2回目の社会福祉現場実習です。社会福祉士、社会福祉主事任用資格取得に必要な実習です。夏の実習をふまえ、利用者理解、課題発見を目的とした実習です。福祉スポーツ科、健康福祉科の2年生は1段階の幼稚園実習に行きます。幼稚園での生活を体験し理解を深め、有資格者となるための基礎を養います。保育園

とは異なり教育実習です。

介護福祉科の1年生は2段階の介護実習です。高齢者施設や身体障害者施設などで、施設ではたらく人たちの職種ごとの役割を学びます。また4週間のこの実習期間には各種勤務体制を経験します。一つ一つの実習が有資格者になるための一歩一歩となっていきます。



翌週から実習の始まる健康福祉科の1年生たち



お天気もよく、スキー焼けた福祉スポーツ科1年生たち

福祉スポーツ科1年生はスキーキャンプ実習

2月8日、後期試験が終わった翌日、福祉スポーツ科の1年生は5泊6日の必修スキーキャンプ実習へ出発しました。このキャンプはスキー技術の習得はもちろん、指導者との人間的な関わりの中から「安全」と「信頼」を学び取り、将来、指導者として求められる資質を身につけることも目的としています。今年は雪不足を心配していましたが、キャンプ中に2回降雪があり、とても良いコンディションの中で、実習を行うことができました。スキー経験にかかわらず、全員がSAJバッジテ

スト合格をめざしてひたすら技術向上に取り組みます。板をはくこともままならない学生もいましたが、最終日には皆、立派に滑れるようになりました。バッジテストもなんと2名が2級に合格！インストラクターの厳しさ、暖かさに触れながら充実した6日間を過ごすことができました。



インストラクターのアドバイスを真剣に聞いています

高齢者福祉のスペシャリスト

介護福祉科特集

介護福祉士のはたらきが変わり始めています。食事・排泄・入浴といった日常生活の介助だけでなく、利用者が暮らす地域においてその生活全体を支援する、そして利用者が暮らす地域においてその生活全体を支援する、そして利用者や介護者と信頼しあい、その人らしい生活や尊厳を取り戻す、利用者ができないことを補うのではなく、利用者とともに利用者の「できること」を見つけて引き出す… YMCA健康福祉専門学校では具体的な介護技術はもちろん、利用者やその家族をささえるためのコミュニケーションについても学び、遠くない「本格的な高齢化社会を」支えるための介護福祉士を養成しています。



在校生はこんなふうに進路を決めました



高1から迷わず「介護」でした

介護福祉科1年 穴見由香里さん(県立伊勢原高校出身)

高校1年生のときにボランティアで老人ホームに行き、たくさんの利用者さんの笑顔を見て「もっとたくさんの方たちの笑顔が見たい!」と思ったことが介護福祉科進学のかっけでした。先生達も個性豊かで熱心に教えてください。好きな授業は「老人福祉論」。授業も楽しくて、今後将来にも役立つだろうなと思っています。今は第2段階、身体障害者施設での実習の真っ最中。大変なこともたくさんあります。でも利用者の方に楽しい毎日をご過ごしていただくため、この実習からもたくさん学んでいこうと思います。



きっかけは祖父の認知症

介護福祉科1年 清野絢さん(県立座間高校出身)

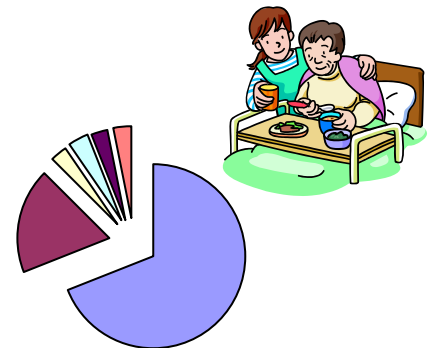
一緒に住む認知症の祖父を見ていて、認知症のことを学びたいと思ったのが中学生のときです。老人ホームでのボランティア活動を通してこのような仕事に就いて誰かのお役に立ちたいと思い、介護福祉士をめざしました。高校時代の自分と比べて、どんな人とも分け隔てなく関わることができるようになったのは、たくさんの行事やボランティア活動に積極的に参加して、たくさんの人からたくさんのことを教えてもらったから。忙しいけれど自分自身の身につくことが多いと感じています。

就職のこと

YMCA健康福祉専門学校の介護福祉科は1989年に始まりました。それ以来、たくさんの先輩達が卒業し、介護福祉のさまざまな現場で活躍しています。

今年度卒業する2年生も既にほとんどの学生の就職内定をいただき、卒業を待っています。今年度卒業する学生達は介護福祉士の国家資格に加えて、社会福祉主事任用資格を取得していきます。またYMCA介護予防運動指導士、レクリエーション・インストラクター、キャンプ・インストラクター、障害者スポーツ指導員初級指導者資格など、実に多くの資格と学びを持って、現場での活躍が始まるのです。

ある高齢者施設の職員の方のお話のなかに「介護福祉士は「なる」ものじゃないんです。資格を取得してから、たくさんの周りの方とのかかわりの中で「なっていく」ものなんですよ。」と伺ったことがあります。これから卒業していく皆さんの成長を、楽しみにしています。



2006年度就職先は…	
介護老人福祉施設	69%
介護老人保健施設	19%
病院	3%
グループホーム	3%
知的障害者通所更正施設	3%
進学	3%

これからのカレッジ・インと入試

2007年度生の入学試験も残すところあとわずかとなりました。YMCA健康福祉専門学校では、自分の「夢」の実現をめざして専門分野の知識や技能などを身につけたいと考えている人に、ひとりでも多くの方に進学の道を閉ざさことなく応援していきたいと考え、3月の終わりまで入学試験を実施しています。皆さんそれぞれにある想いをカタチにできるよう、最後まであきらめないで頑張りましょう。

また、3月10日に追加日程のカレッジ・インを実施することになりました。2007年4月入学を考えている人はもちろん、高校1,2年生の皆さんの参加もお待ちしております。ぜひ一度、YMCAを見に、感じにきてくださいね！

2007年 3月

おしらせ



入試 3/4、3/25



カレッジ・イン
3/10 9:30 ~ 15:30

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
	5	6	7	8	9	
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
	26	27	28	29	30	31



2008年度生用
学校案内パンフレット制作が
順調に進んでいます！
お楽しみに！



YMCA健康福祉専門学校

福祉スポーツ科
健康福祉科
介護福祉科

〒243-018
厚木市中町4-16-19
電話 046-223-1441
FAX 046-223-2101
Email: ymkenko@yokohama-ymca.or.jp
HP: <http://www.yokohamaymca.ac.jp/health>



小田急線本厚木駅から徒歩5分
本厚木駅周辺にはミロードをはじめたくさんのお店もあり便利です。有名ラーメン店もありますよ！

4月中旬ホームページもリニューアル予定
お楽しみに！

Realize your dream!

～地域福祉をささえるのはあなたです！～

YMCAではさまざまな活動を通して次のことを学びます。

- 「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」
- 「家族、地域のひとりひとりとして責任があること」
- 「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」
- 「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」
- 「すこやかな心と体を育むこと」

そしてこれらを実現するために、次のことを大切にします。

- 「Caring (思いやり)」「Honesty (誠実さ)」
- 「Responsibility (責任感)」「Respect (尊敬心)」

YMCA健康福祉専門学校では、カリキュラムや学校行事を通じて4つの大切な価値を意識する機会を取り入れています。将来、福祉・保育・スポーツの現場で活躍する学生のみなさんに、他者への思いやりの心を持ち、相手を敬い、自分の行動に責任を持ち、誠実に取り組んでいく専門職になってほしいと願っています。